

地形・地質

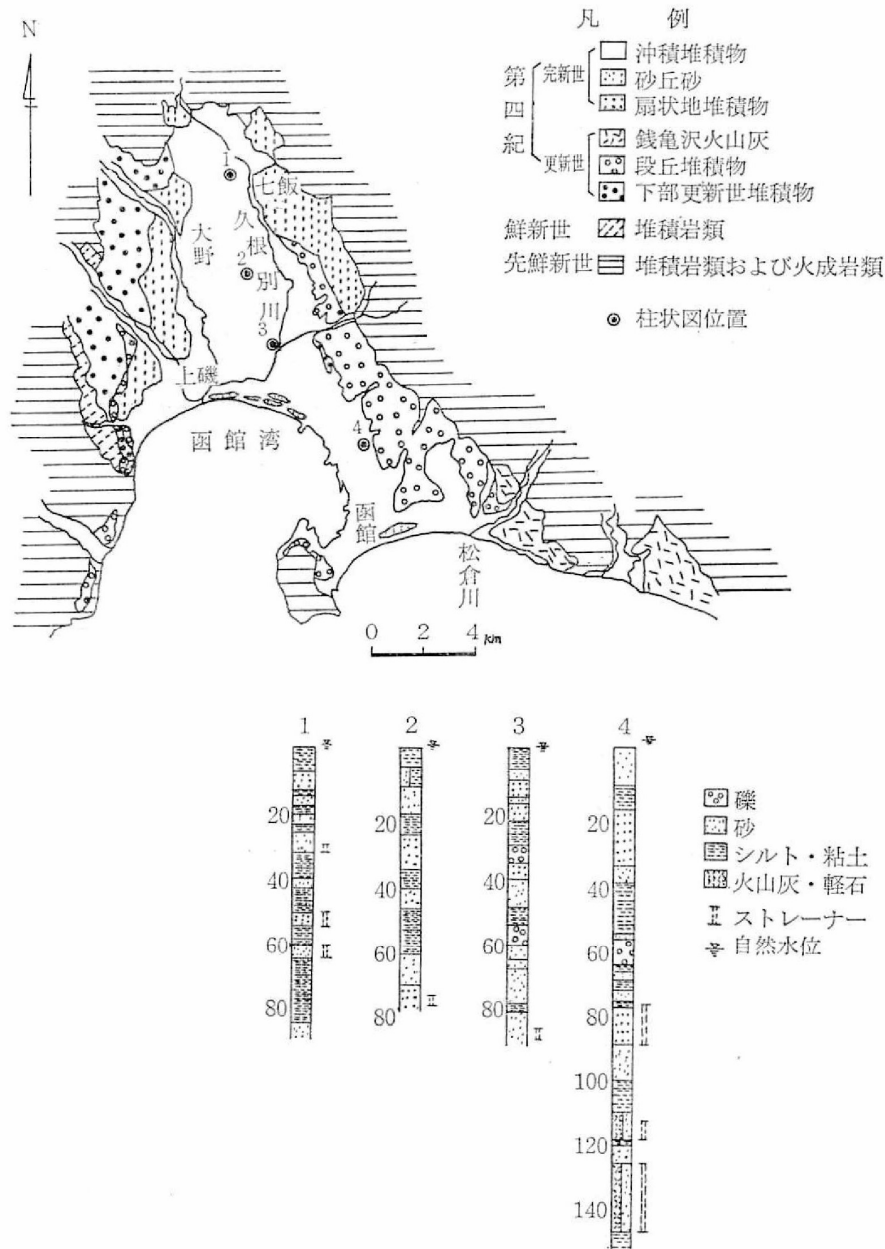
函館平野は函館湾に向かって扇形に開いた形で発達しており、沖積低地、扇状地、砂丘地、洪積台地などからなります。

函館地域の地層層序

時代	地層名	岩相	火成岩類	
第四紀	完新世	沖積堆積物	火山灰, ローム 砂礫, 砂, 粘土, 泥炭	下二股沢溶岩 (石英安山岩) 函館山火山岩類 (石英安山岩) 石英安山岩
		崖錐堆積物	砂礫, 砂	
		扇状地堆積物	砂礫, 砂	
	更新世	第2段丘堆積物	砂礫, 砂, 粘土	
		第1段丘堆積物	砂礫, 砂	
		湯の沢層・元町層	凝灰質砂・凝灰質 粘土質泥互層	
新第三紀	鮮新世	富川層	礫岩, 含礫砂岩, 砂岩 亜炭, 泥炭	
		寒川火山噴出物		
	中新世	茂辺地川層	砂岩, 泥岩, 凝灰岩 角礫凝灰岩	
		戸田川層	硬質頁岩, 泥岩 礫岩, 砂岩, 凝灰岩	
		湯の沢凝灰岩層	凝灰岩	
先新第三紀	先新第三紀層	粘板岩, 輝緑凝灰岩		

地下水

沖積低地における自噴地下水の採取が可能だったので、古くから農業用として利用してきました。主要な帯水層を形成しているのは新第三紀鮮新世（富川層）～第四紀に堆積した地層です。



函館平野の地質と深井戸柱状図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）